

西部

住民交流
サロン型

笑顔が結ぶ人と人との地域交流拠点

<平成25年度開設>

ふれあいの郷かあら山

運営団体 : ふれあいの郷かあら山
問合せ先 : ☎ TEL 0859-53-5277
☎ FAX 0859-53-5277
✉ MAIL kaarayama@sea.chukai.ne.jp
施設所在地 : 西伯郡大山町妻木582-1
ホームページ : <http://www.chukai.ne.jp/~kaarayama/>



活動日時

通年(年末年始・盆を除く)
※定休日は水曜日、
第2日曜日、第4日曜日
9:00 ~ 17:00

活動内容

地域内外の誰もが気軽に集まり子どもから大人までの幅広い世代が出会い輪を広げる交流拠点。住んでいて『楽しい』と思え、『安全・安心』な高麗地区を実現するため、住民による自主的な交流拠点として定休日、お盆と年末年始を除き、毎日9時から17時まで営業するなど活発に活動している。

最近では若い世代のお母さんたちの協力もあり、子ども向けのイベント・活動ができるようになり、世代間で昔の出来事や伝統、植物の育て方などを教えてもらうなど交流を深めている。

【活動内容】

(通常の活動) 月曜日～日曜日

(定休日は毎週水曜日、第2日曜日、第4日曜日、お盆、年末年始)

- ・ カフェ、ランチ
- ・ 写真展、折り紙作品展など
- ・ お弁当配食・見守り
- ・ 子どもの遊び場、学び場の提供



(イベント・教室等)

- ・ 健康教室: 毎週金曜日
- ・ 朝市: 毎月第2日曜日(カフェ・ランチは休み)
- ・ 敬老会: 年1回開催
- ・ お母さんと赤ちゃんを対象とした寝相アート、ワークショップ活動: 月1回開催
- ・ 季節ごとのイベント: コンサートや七夕まつり、鯉のぼり祭り など



活動のきっかけ



平成21年、大山町では住民自治組織としてまちづくり地区会議が各地区で立ち上がり、高麗地区でも「まちづくり高麗地区会議」として活動を開始した。

平成23年には町役場から、統合により閉園となる予定の保育園を紹介してもらい、10集落で説明会を開き、地域の協力を得て、子どもから大人まで誰もが利用できる高麗地区住民のための交流拠点として「ふれあいの郷かあら山」を開設。平成25年4月には鳥取ふれあい共生ホームに登録し、現在は活動5年目を迎える。

今後の展望



これから、さらに高齢化が進行する中で配食、認知症予防、転倒防止などの健康維持を目的とした活動を考えている。配食では高齢者の見守り、声かけをしながら活動しているが、配食専用の車がなく、個人の車で訪問しているなどの問題点があり、解決策を模索している。

また、開設してから5年が経ち、かあら山に来ていた子どもの成長と一緒に感じることができた。今後は子ども達が将来、鳥取県や大山町に誇りを持ち、帰ってきて、集まれる居場所としていきたい。

工夫した点

立ち上げ面

- 活動を理解してもらうため、集落ごとに説明会を開き、評議員を各集落の区長に依頼した。また、各集落から「かあら山委員」を選出し、地域の意見を取り入れた。
- 地域の方にかあら山の存在を知ってもらうため、ほぼ毎日、年中無休でカフェを開くなど活動した。

運営面

- 地域住民へのアンケート調査を実施し、「何をしている場所かわからない」、「立ち寄りづらい」との意見があったため、地域の方が参加しやすいイベントや朝市、作品展、タブレット講習会などの教室を開催している。
- かあら山に来られた方へは一声かけ、笑顔で会話が楽しめる雰囲気づくりを心掛けている。



代表者のコメント



ふれあいの郷かあら山 会長 福間 寿秋 さん 前会長 谷野 保人 さん、サロン部部长 入澤 由美 さん

5年間続けることができたのも、地域内外の利用者の皆様のお力添えがあって成り立っていると感じています。最初は、私たちの居場所作りとして老後に友達、知人と集まってお茶が飲める所が欲しいと思い立ち上げました。今では、利用者の皆様と話をしながら楽しい時間を過ごすことの大切さを感じています。

ふれあう場所が昔はあったのに対して現代はないのが現状です。核家族化で高齢者と幼児がふれあうことも少なくなり、昔の伝統習わしなどが廃れつつあると思います。自分たちが知らないことを伝えていって次世代に伝えたいと思います。